



今月の話題：ニッサン、スバルの大量の車両の不適切品質検査が報道されている。同種の過誤はいろいろあるが、その都度、出典不明だが、「量的変化は質的变化をもたらす」という定理が思い浮かぶ。発展を目指した量的拡大の結果、制御力を失い、再度分割して再生を図る事例もある。我々は量の拡張の為、質が変容していく過程を多く見てきた。そろそろ、量の課題を見直す時期に来ているのではないだろうか。(伊藤誠三)

□ 本部便り：(金森捷三郎 記)

・第5回拡大理事会及び忘年会は12月14日(木)の予定。各部会の理事会報告資料のご提出は11月30日(木)までお願い致します。詳細は改めてご連絡致します。

○次回拡大理事会：12月14日(金) 15:30～

□ 建築部会：(岡本直 記)

・建築部会(10月18日)のその主な内容は以下の通り。

(1)平成29年度第5回サツ寺子屋のテーマ検討

「我が国におけるPC集合住宅の設計、製造、現場組立の歴史とPC構造基準」をテーマに吉田宏講師により11/30に東大松村藤田研究室にて開催されることが決定しました。部会に吉田氏が出席され、寺子屋における説明ポイントが紹介された。(2)「モンゴルにおける既存集合住宅耐震診断・耐震補強、断熱性能向上事業計画」についてウランバートルで指導、協力を頂いている国立モンゴル科学技術大学のJAV教授が来日され、10/24、25の両日に意見交換と歓迎会を開催しました。(3)文京区から来年1月開催予定の耐震フェアにおけるセミナーへの協力要請があり、下記の案を提示した。「切迫する巨大地震とそれへの備え(1/18予定 講師 小鹿氏)「熊本地震による地震被害と木造住宅の耐震安全性の考え方」(1/19予定 講師 坂本先生)また、同様に中央区から来年2月開催予定の耐震フェアにもセミナー協力の依頼を受け、講演内容の検討に入っています。

・建築部会におけるその他の報告

(1)耐震診断受託業務の進捗状況は、サーツ一級建築士事務所により2件の耐震診断が完了し、補強設計の段階に進むべく調整中。新たに1件の耐震診断の依頼を受け検討中です。部会内の耐震SWGでは耐震診断促進法が適用される大規模病院、ホテルなどの耐震診断の展開可能性について意見交換を進める予定です。

(2)タイルの浮き補修工法について相談が持ち込まれていることから、最近、建築仕上げ学会で取り上げられた「プレスタウングラウト工法」を中心に最近のタイルの浮き問題について意見交換を行った。その他、パンレット改訂版に関する検討および今年実施された歴史的建造物探訪旅行(鹿児島、宮崎)の報告などが行われました

○次回建築部会11月15日(水)17:30～19:00

□ 戸建住宅部会：(阿部市郎 記)

・11月の戸建住宅部会は下記の通り。部会員の皆様のご出席をお待ちします。

○次回部会予定：11月2日(木)18:00～

ショートスピーチ：岡野泰三氏「小規模建築物基礎の液状化対応について(簡易液状化判定手法含む)」

□ 集合住宅部会：(小畑晴治 記)

・10月14日放映のNHK『クローズアップ現代』のことで設計事務所関係の協会・団体議論が大紛糾しています。

しかし、「判断能力のないマンション管理組合の修繕費積立金を餌食にする悪徳コンサルタントはけしからん」と感じる倫理観の高い建築士や常識人が有する正義感だけではとても太刀打ちできず、建築設計の業界全体に“火の粉”が降りかかっているのかもしれない。

改修・修繕に関しては、工事の申請～施工に至る手続きが整備されていないことが原因するようですが、問題のある工事業者の団体が一級建築事務所の看板を掲げながら、公共団体の推薦対象団体に入っているようです。

これからの、マンションや団地の改修や再生の支援事業を行うに当たっては、この問題に関するサーツとしての共通姿勢や共通見解を持って行動しないとあらぬ疑念や誤解を招いてしまうことになりかねません。

○次回部会予定：1月11日(木)18:00～

□ マンション管理組合支援事業部：(丸山和郎 記)

・10月度、マンション管理組合支援事業受託進展状況

1)今期上半期受託契約済9件(①豊玉北、②豊玉北その2、③大森、④東久留米市、⑤柏市、改修設計・業者選定補助、⑥北区浮間、診断調査、⑦藤沢市鶴沼、頻度別コンサル)、⑧板橋区(調査診断)、⑨板橋区(雑排水管更新コンサル)。

2)下半期引合6案件①市川市(屋外改修工事の監理業務)②八王子市(特建・設備定期調査報告)③品川区南大井(管理会社作成の長計案に対する校閲業務)④大田区西蒲田(調査～業者選定)⑤西東京市(地下受水槽室浸水補修)⑥八王子市(外壁タイル打診調査)のうち、②八王子市(特建・設備定期調査報告)を10月度受託契約済。他の5件も引き続き受託に向け努力中。

・10月度マンション部会決算見通し：期首目標 受託額5,100 予定差益額1,020に対し、決算見通し：7,230 1,655であるが下期受託分が遅れ気味。来期にずれ込む恐れもあり、予断を許さぬ状況です。

・10月度マンション部会では定例議題のほか、「サーツパンフ改訂案」の内容の確認を行った。

・H29年度第5回サーツ寺子屋を11月30日(木)18:00～開催予定、詳細は建築部会報告参照のこと。サーツホームページから受講申し込みを!

○次回部会予定：1月11日(木)16:00～18:00

□ 建築技術11月号(10月17日発売)サーツ欄掲載記事

・神谷文夫：厚物合板による床構面の開発と普及の裏話
・丸山和郎：東京都・サーツ共催「マンション耐震セミナー」報告

□ 余滴：銀座裏小さき画廊に秋時雨 捷三郎